

2019年 1 月20日 実施

平成30年度（第60回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第2級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は9ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】【2】【3】【4】【5】【6】は共通問題です。
5. 【7】の問題は J a v a ・ マクロ言語のいずれか一つを選択し、解答用紙の選択言語を で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. ハードディスク装置において、磁気ヘッドを目的の位置へ移動させるための部品。
2. 複数のファイルを一つにまとめたり、まとめたファイルを元の状態に戻したりするためのソフトウェア。
3. 米国に本部をおく、コンピュータや通信などの電気・電子技術分野における世界規模の学会。
4. 一定の規則にしたがって計算された検査用文字列をコードに付加することで、入力されたコードに誤りがないかを確認する方法。
5. C A T Vや光回線などの通信網と、L A Nを接続するために用いられるネットワーク機器。

解答群

- | | | |
|------------------|---------------|-------------|
| ア. シリンダ | イ. ブロードバンドルータ | ウ. シェアウェア |
| エ. I E E E | オ. S S I D | カ. アクセスアーム |
| キ. I S O | ク. アーカイバ | ケ. リミットチェック |
| コ. チェックディジットチェック | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- < A 群 >
- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. ドット | 2. ピアツーピア | 3. 読み取り |
| 4. P D F | 5. トレース | |

< B 群 >

- ア. コンピュータの機種や使用環境に依存せず、表示や印刷をすることができる電子文書のファイル形式。
- イ. ファイル共有などのサービスを提供するコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータで構成されるネットワーク形態。
- ウ. ファイルやディレクトリに対するアクセス権の一つで、データの参照のみが許可された権限。
- エ. テスト用データを使用してプログラムを実行することで、プログラムが正しく動作することを確認する作業。
- オ. プリンタで文字や画像を印刷する際の、物理的な最小単位の点。
- カ. アプリケーションソフトウェア間のデータ交換の際に用いられる、データをコンマで区切って記録したファイル形式。
- キ. プログラムが実行されていく過程を追跡したり、各段階の変数の値を確認したりする作業。
- ク. ファイルやディレクトリに対するアクセス権の一つで、データの更新が許可された権限。
- ケ. コンピュータ間で通信を行う際、互いが対等な関係にあるネットワーク形態。
- コ. プリンタで文字や画像を印刷する際に用いる、色の表現方法。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 41 と 2進数の 1 0 0 1 1 との和を表す 2 進数。

ア. 1 0 1 1 0	イ. 1 0 0 0 0 1	ウ. 1 1 1 1 0 0
--------------	----------------	----------------
2. コンピュータが直接実行できる機械語とソースコードの命令が、1対1の関係で対応しているプログラム言語。

ア. アセンブリ言語	イ. J a v a	ウ. マクロ言語
------------	------------	----------
3. 第三者に内容を読み取られないように変換されたデータを、元のデータに戻すこと。

ア. 暗号化	イ. 復号	ウ. 圧縮
--------	-------	-------
4. 日本工業規格が定めた、コンピュータで日本語を表現するための文字コード。

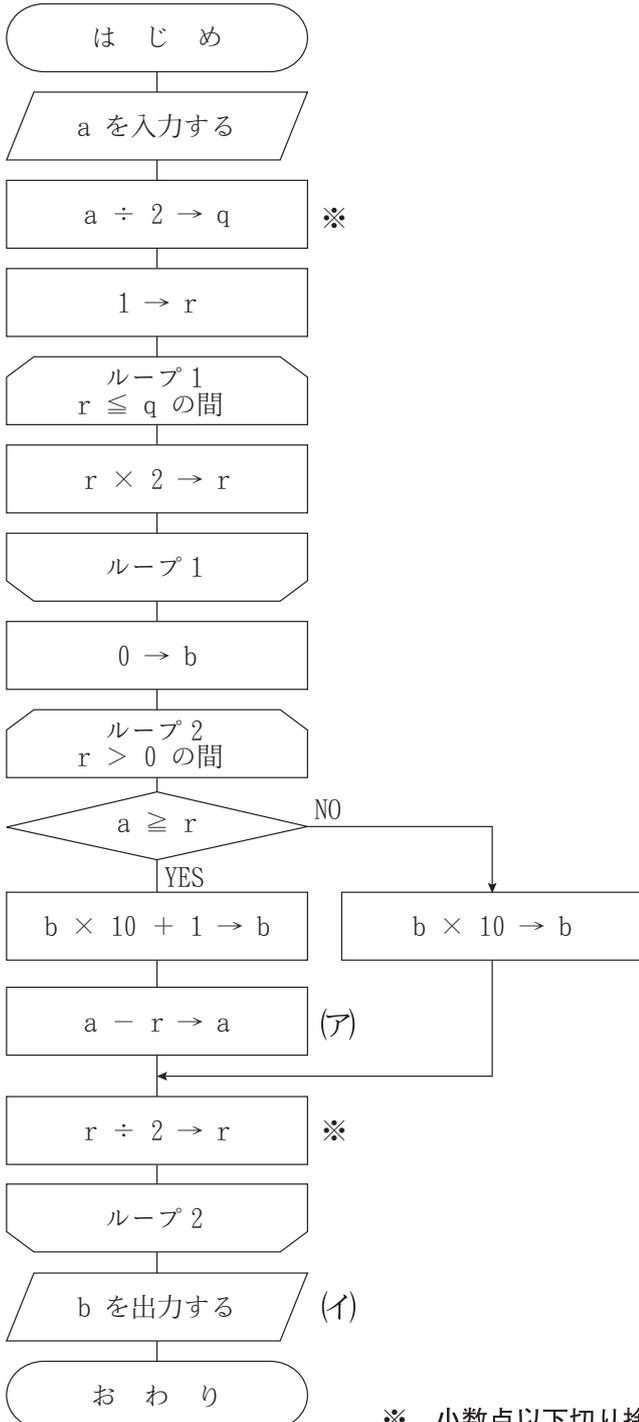
ア. A S C I Iコード	イ. J I Sコード	ウ. U n i c o d e
-----------------	-------------	------------------
5. 他人のユーザIDやパスワードを無断で使用して、コンピュータシステムを利用することを禁止した法律。

ア. 不正アクセス禁止法	イ. 著作権法	ウ. 個人情報保護法
--------------	---------	------------

【 4 】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値は正の整数とする。

- (1) a の値が 26 のとき、(ア)の処理を 2 回目に実行したあとの a の値を答えなさい。
- (2) a の値が 26 のとき、(イ)で出力される b の値を答えなさい。
- (3) a の値が 43 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) a の値が 43 のとき、(イ)で出力される b の値を答えなさい。
- (5) 流れ図の処理について説明した文のうち、正しいものはどれかア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 流れ図の処理中、 r の最大値は q の値より小さくなる。
 - イ. 流れ図の処理中、 r の最大値は q の値と等しくなる。
 - ウ. 流れ図の処理中、 r の最大値は q の値より大きくなる。

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある県の市町村別人口データを読み、人口変動一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

市町村名 (Sityo)	前年度 (Zen)	今年度 (Kon)
×××	××××××××	××××××××

(第 1 図)

実行結果

(人口変動一覧)			
(市町村名)	(前年度)	(今年度)	(増加率(%))
S T市	1,222,413	1,263,979	3.4
K M市	203,180	198,702	-2.2
T D市	123,079	132,110	7.3
}	}	}	}
W K市	80,826	80,826	0.0
M B町	31,153	30,061	-3.5
N K村	17,323	18,212	5.1
(増加率(%)が最大の市町村名)		T D市	
(増加率(%)の最大)		7.3	
(市町村数)		63	
(人口増加の市町村数)		22	
(人口減少の市町村数)		40	

(第 2 図)

処理条件

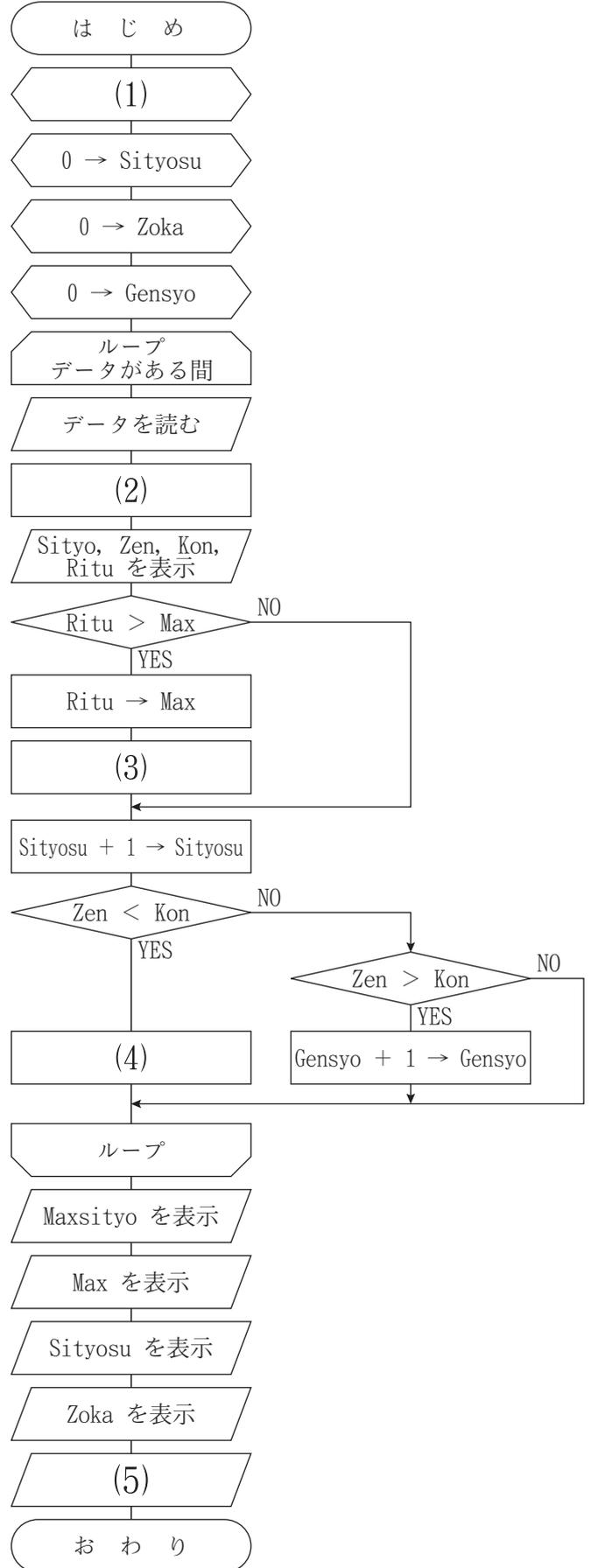
- 第 1 図の入力データを読み、増加率(%)を次の計算式で求め、第 2 図のように表示する。

$$\text{増加率(\%)} = (\text{今年度} - \text{前年度}) \times 100 \div \text{前年度}$$
- 入力データが終了したら、増加率(%)が最大の市町村名、増加率(%)の最大、市町村数、人口増加の市町村数、人口減少の市町村数を第 2 図のように表示する。なお、最大は同じ増加率(%)があった場合、先に入力されたデータを優先する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Sityo → Max
- イ. 99.9 → Max
- ウ. Zoka + 1 → Zoka
- エ. (Kon - Zen) × 100 ÷ Zen → Ritu
- オ. Sityo を表示
- カ. Sityo → Maxsityo
- キ. Gensyo を表示
- ク. (Zen - Kon) × 100 ÷ Kon → Ritu
- ケ. -99.9 → Max
- コ. Zoka - 1 → Zoka

<流れ図>



【 6 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある自動車用タイヤ販売店の売上データを読み、商品別売上金額一覧表とメーカー別売上金額集計表をディスプレイに表示する。

入力データ

伝票番号 (Dban)	商品コード (Scode)	メーカーコード (Mcode)	数量 (Su)
×××	××××	×	×

(第 1 図)

実行結果

(商品別売上金額一覧表)				
(商品コード)	(数量計)	(単価)	(売上金額計)	(備考)
NP20	26	9,500	247,000	
NS10	55	14,200	781,000	*
}	}	}	}	}
ARS5	42	25,800	1,083,600	*
(平均)	29.1			

(メーカー別売上金額集計表)	
(メーカー名)	(売上金額合計)
A社	8,715,900
B社	6,208,200
C社	5,106,500
D社	7,201,600
(総合計)	27,232,200

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の商品コードは30種類であり、メーカーコードは 1 (A社) ~4 (D社) である。
- 配列 Scd に商品コードを、配列 Stan に単価を、配列 Mmei にメーカー名を記憶する。なお、Scd と Stan の添字は対応し、Mmei の添字はメーカーコードと対応している。

配列

Scd	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
		NP20	NS10	~	ARE4	ARS5
Stan	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
		9500	14200	~	49300	25800
Mmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	
		A社	B社	C社	D社	

- 第 1 図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 商品コードをもとに配列 Scd を探索し、配列 Ssu に数量を集計する。なお、Ssu(0) には総合計を求める。また、Ssu の添字は Scd の添字と対応している。

配列

Ssu	(0)	(1)	(2)	~	(29)	(30)
				~		

(総合計)

- 売上金額を次の計算式で求め、メーカーごとに配列 Mkin に売上金額を集計する。なお、Mkin(0) には総合計を求める。また、Mkin の添字はメーカーコードと対応している。

$$\text{売上金額} = \text{数量} \times \text{単価}$$

配列

Mkin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)

(総合計)

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 平均を次の計算式で求める。

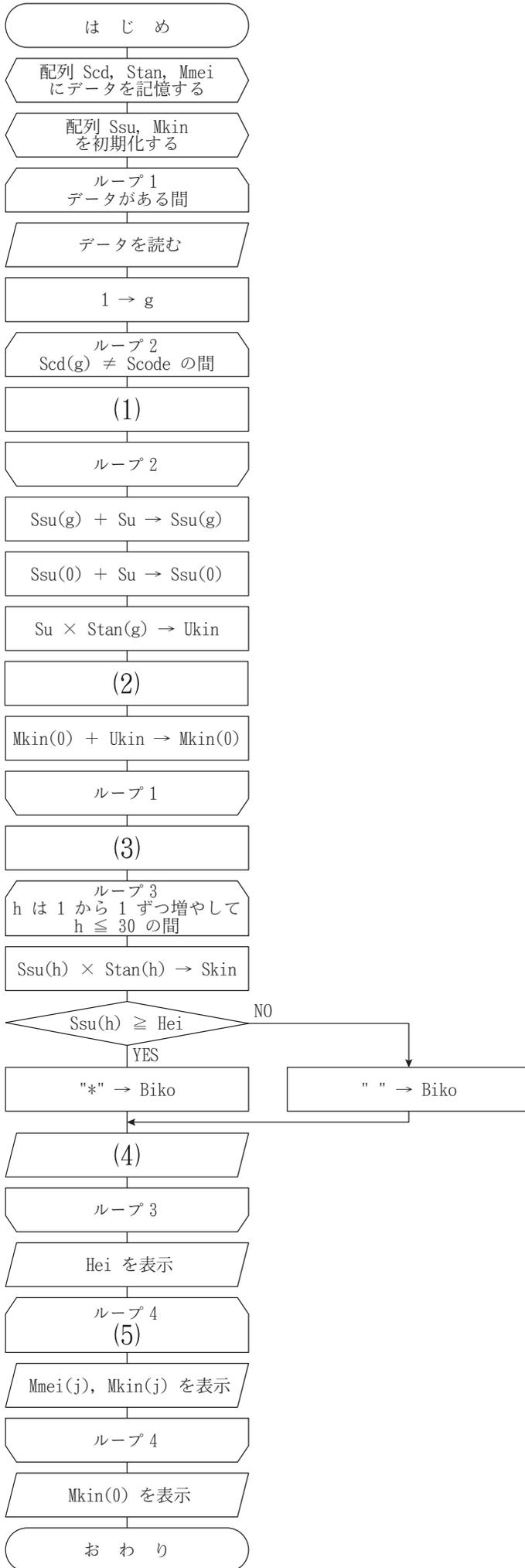
$$\text{平均} = \frac{\text{数量の総合計}}{30}$$
 - 商品ごとに売上金額計を次の計算式で求め、商品コードから備考までを第 2 図のように表示する。なお、備考は数量計が平均以上の場合は * を表示する。

$$\text{売上金額計} = \text{数量計} \times \text{単価}$$
 - 平均を第 2 図のように表示する。
 - メーカーごとにメーカー名と売上金額合計を第 2 図のように表示する。
 - 売上金額の総合計を第 2 図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- | |
|---|
| ア. Scd(h), Ssu(h), Stan(h), Skin, Biko を表示
イ. $Ssu(0) \div 30 \rightarrow \text{Hei}$
ウ. j は 0 から 1 ずつ増やして $j < 4$ の間
エ. $Mkin(g) + Ukin \rightarrow Mkin(g)$
オ. $g + 1 \rightarrow g$
カ. $Mkin(0) \div 30 \rightarrow \text{Hei}$
キ. Scd(h), Ssu(h), Stan(h), Mkin(h), Biko を表示
ク. j は 1 から 1 ずつ増やして $j \leq 4$ の間
ケ. $g - 1 \rightarrow g$
コ. $Mkin(\text{Mcode}) + Ukin \rightarrow Mkin(\text{Mcode})$ |
|---|

< 流れ図 >



【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある米販売店の1か月分の売上データを読み、集計結果を表示する。

入力データ

売上データ (ファイル名: uriage.csv)

日付	区分	銘柄コード	重量コード	数量(袋)
××××	×	×	×	××

(第1図)

実行結果

```

銘柄コード(1~5)を入力してください => 1
○○ヒカリ 【売上金額合計: 4,201,530円】
  1袋あたりの重量   数量計(袋)   売上金額計
      10kg           258           1,177,830
      20kg           175           1,565,100
      30kg           113           1,458,600
全銘柄の売上金額合計 (17,067,990円) に対する割合: 24.6%
銘柄コード(1~5)を入力してください => 2
◇◇の輝き 【売上金額合計: 2,605,300円】
  }
銘柄コード(1~5)を入力してください => 0
    
```

(第2図)

処理条件

- 第1図の区分は1(通常日)と2(特売日)、銘柄コードは1(○○ヒカリ)~5(△△ひめ)、重量コードは1袋あたりの重量であり、1(10kg)~3(30kg)である。
- 配列 mMei に銘柄名を記憶する。なお、mMei の添字は銘柄コードと対応している。

配列

mMei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		○○ヒカリ	◇◇の輝き	◎◎ニシキ	□□のしずく	△△ひめ

- 商品情報を管理する Syohin クラスをインスタンス化し、配列 sh に記憶する。なお、sh の添字は銘柄コードと対応している。

配列

sh	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- 配列 kTan に1袋の単価を記憶する。

配列

kTan	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(3)	(4)	(5)
		4600	9000	13000	~	3900	7500	11000
		(10kg)	(20kg)	(30kg)	~	(10kg)	(20kg)	(30kg)
		(○○ヒカリ)				(△△ひめ)		

- 第1図の売上データを読み、次の処理を行う。

- 売上金額を次の計算式で求め、重量コードごとに配列 su に数量(袋)を、配列 kin に売上金額を集計する。ただし、値引率は区分が1の場合は0%とし、2の場合は5%とする。なお、kin(0)には合計を求める。また、su, kin の添字は重量コードと対応している。

$$\text{売上金額} = \text{数量(袋)} \times (\text{単価} \times (1 - \text{値引率}))$$

配列

su	(0)	(1)	(2)	(3)
kin	(0)	(1)	(2)	(3)
	(合計)	(10kg)	(20kg)	(30kg)

- 全銘柄の売上金額合計を求める。
- データを読み終えたあと、キーボードから銘柄コードが入力されたら、次の処理を行う。
 - 集計結果を第2図のようにディスプレイに表示する。
 - 全銘柄の売上金額合計に対する割合を次の計算式で求め、第2図のようにディスプレイに表示する。

$$\text{全銘柄の売上金額合計に対する割合} = \text{売上金額合計} \times 100 \div \text{全銘柄の売上金額合計}$$
 - キーボードから 0 が入力されたら処理を終了する。

< J a v a プ ロ グ ラ ム >

```

//クラスSyohin
public class Syohin {
    public static int[] kTan = { 0, 4600, 9000, 13000, ~ 3900, 7500, 11000 };
    public static int gokei;
    public int[] su = new int[4];
    public int[] kin = new int[4];
    public String mMei;
    public Syohin(String mMei) {
        this.mMei = mMei;
    }
    public void syukei(int kubun, int mCod, int jCod, int suryo) {
        double nRitu;
        if( (1) ) {
            nRitu = 0;
        } else {
            nRitu = 0.05;
        }
        su[jCod] = su[jCod] + suryo;
        int soe = (mCod - 1) * 3 + jCod;
        int uKin = suryo * (int) (kTan[soe] * (1 - nRitu));
        kin[jCod] = (2);
        kin[0] = kin[0] + uKin;
        gokei = gokei + uKin;
    }
    public void output() {
        System.out.printf("%-6s 【売上金額合計：%,10d円】 ¥n", mMei, kin[0]);
        System.out.println(" 1袋あたりの重量      数量計(袋)      売上金額計");
        for(int i = 1; i <= 3; i++) {
            int juryo = i * 10;
            System.out.printf("          %2dkg          %5d          %,10d¥n", juryo, su[i], (3));
        }
        double wari = (double) (4);
        System.out.printf(" 全銘柄の売上金額合計 (%11d円) に対する割合：%4.1f%%¥n", gokei, wari);
    }
}

//クラスUriageBunseki
import java.io.BufferedReader;
}
public class UriageBunseki {
    public static void main(String[] args) throws IOException {
        String[] mMei = { "", "〇〇ヒカリ ", "◇◇の輝き ", "◎◎ニシキ ", "□□のしずく", "△△ひめ " };
        Syohin[] sh = new Syohin[6];
        for(int m = 1; m <= 5; m++) {
            sh[m] = new Syohin(mMei[m]);
        }
        BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("uriage.csv"));
        String line;
        while((line = fileIn.readLine()) != null) {
            String[] str = line.split(",");
            int hiduke = Integer.parseInt(str[0]);
            int kubun = Integer.parseInt(str[1]);
            int mCod = Integer.parseInt(str[2]);
            int jCod = Integer.parseInt(str[3]);
            int suryo = Integer.parseInt(str[4]);
            sh[mCod].(5)(kubun, mCod, jCod, suryo);
        }
        fileIn.close();
        Scanner sc = new Scanner(System.in);
        System.out.print("銘柄コード(1~5)を入力してください => ");
        int mCode = sc.nextInt();
        while(mCode != 0) {
            sh[mCode].output();
            System.out.print("銘柄コード(1~5)を入力してください => ");
            mCode = sc.nextInt();
        }
        sc.close();
    }
}

```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ユーザーフォームから英会話教室の利用データを入力し、処理結果を表示する。

入力データ

会員データ (ファイル名: kaiin.csv)

会員番号	会員名	誕生日
××××	×～×	××××××××

(第1図)

ユーザーフォーム・実行結果

本日の月	[1] 月	会員名	△△正雄	
	(Label1)		(Label2)	
入力欄		誕生日	20050127	
会員番号	[2]		(Label3)	
	(TextBox1)	利用料金	5,500 円	
クラスコード	[3]		(Label4)	
	(TextBox2)	値引金額	1,100 円	
時間コード	[1]		(Label5)	
	(TextBox3)	請求金額	4,400 円	
			(Label6)	
本日の請求金額計	[1,447,200] 円			
	(Label7)			
本日の利用人数集計	幼児	小学生	中学生	高校生
40分	10	29	47	18
80分	3	12	44	37
割合	6.5%	20.5%	45.5%	27.5%
				(Label8)

(第2図)

処理条件

- 第1図の会員番号は1からの連番で、会員データの件数は2,000件以下である。なお、誕生日は次の例のように構成されている。

例 20050127 → 2005 01 27
年 月 日

- 第2図のクラスコードは1(幼児)~4(高校生)の4種類である。また、時間コードは1(40分)と2(80分)である。
- ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。

- 次の関数を用いて、現在のシステム日付から月を取得し、Label1に表示する。
Month(Now())
- 第1図の会員データを読み、配列Kmに会員名を、配列Tbに誕生日を記憶する。なお、Km、Tbの添字は会員番号と対応している。

配列

Km	(0)	(1)	(2)	~	(1999)	(2000)
		〇〇沙織	△△正雄	~		
Tb	(0)	(1)	(2)	~	(1999)	(2000)
		20140403	20050127	~		

- 第2図のように入力欄に入力し、「処理」ボタンをクリックすると次の処理を行う。

- 配列Ryoに利用料金を記憶する。

配列

Ryo	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		3500	4500	5500	7000	6000	7500	9000	11500
		(幼児)	(小学生)	(中学生)	(高校生)	(幼児)	(小学生)	(中学生)	(高校生)
		(40分)				(80分)			

- 会員番号をもとに会員名をLabel2に、誕生日をLabel3に表示する。
- クラスコードと時間コードをもとに利用料金を求め、Label4に表示する。
- 誕生日の月と本日の月が同じ場合、利用料金の20%を値引きする。なお、値引金額を次の計算式で求め、Label5に表示する。

$$\text{値引金額} = \text{利用料金} \times 0.2$$

- 請求金額を次の計算式で求め、Label6に表示する。

$$\text{請求金額} = \text{利用料金} - \text{値引金額}$$

- 本日の請求金額計を求め、Label7に表示する。
- クラスコード、時間コードごとに配列Rninに利用人数を集計する。なお、Rninの添字は配列Ryoの添字と対応している。また、Rnin(0)には合計を求める。

配列

Rnin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	(合計)	(幼児)	(小学生)	(中学生)	(高校生)	(幼児)	(小学生)	(中学生)	(高校生)
		(40分)				(80分)			

- 第2図のように、クラスコード、時間コードごとに本日の利用人数集計をLabel8に表示する。

- クラスコードごとに割合を次の計算式で求め、Label8に表示する。

$$\text{割合} = (\text{40分利用人数} + \text{80分利用人数}) \times 100 \div \text{利用人数合計}$$

<マクロ言語プログラム>

```
Option Explicit
Dim Kb As Long, Km(2000) As String, Tb(2000) As Long, Kei As Long, Rnin(8) As Long
```

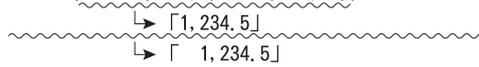
```
Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim h As Long
    Label1.Caption = Month(Now())
    Call Syokika
    Label7.Caption = "": Label8.Caption = ""
    Open ThisWorkbook.Path & "\Ykaiin.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        h = h + 1
        Input #1, Kb, Km(h), Tb(h)
    Loop
    Close #1
End Sub
```

```
Private Sub 処理_Click()
    Dim Ryo(8) As Long, Htuki As Long, Kban As Long, Ccod As Long, Jcod As Long, Soe As Long, Ttuki As Long
    Dim Nkin As Long, Skin As Long, j As Long, k As Long, Critu As Double
    Ryo(1) = 3500: Ryo(2) = 4500: Ryo(3) = 5500: ~ Ryo(6) = 7500: Ryo(7) = 9000: Ryo(8) = 11500
    Htuki = Val(Label1.Caption)
    Kban = Val(TextBox1.Text)
    Ccod = Val(TextBox2.Text)
    Jcod = Val(TextBox3.Text)
    Label2.Caption = (1)
    Label3.Caption = Tb(Kban)
    Soe = (Jcod - 1) * 4 + Ccod
    Label4.Caption = Format(Ryo(Soe), "##,##0")
    Ttuki = Int(Tb(Kban) / 100) - Int(Tb(Kban) / 10000) * 100
    If (2) Then
        Nkin = Ryo(Soe) * 0.2
    End If
    Label5.Caption = Format(Nkin, "#,##0")
    Skin = Ryo(Soe) - Nkin
    Label6.Caption = Format((3), "##,##0")
    Kei = Kei + Skin
    Label7.Caption = Format(Kei, "##,###,##0")
    Rnin(Soe) = (4)
    Rnin(0) = Rnin(0) + 1
    Label8.Caption = ""
    For j = 0 To 1
        For k = 1 To 4
            Soe = j * 4 + k
            Label8.Caption = Label8.Caption & " " & Format(Format(Rnin(Soe), "#,##0"), "@@@@")
        Next k
        Label8.Caption = Label8.Caption & Chr(13) & Chr(10)
    Next j
    For k = 1 To 4
        Soe = k + 4
        Critu = (Rnin(k) + Rnin(Soe)) * 100 / (5)
        Label8.Caption = Label8.Caption & " " & Format(Format(Critu, "##0.0"), "@@@@") & "%"
    Next k
End Sub
```

```
Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub
```

```
Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokika()
    TextBox1.Text = "": TextBox2.Text = "": TextBox3.Text = ""
    Label2.Caption = "": Label3.Caption = "": Label4.Caption = "": Label5.Caption = "": Label6.Caption = ""
End Sub
```

⑥ 使用例 `Format(Format(1234.5, "###,##0.0"), "@@@@@@@@")`

 ↳ 「1,234.5」
 ↳ 「 1,234.5」

(平成31年 1月20日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度 (第60回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回		

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

【7】	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	

試験場校名	受験番号	選択言語	
		J a v a	マクロ言語

小計

合計

選択言語を で囲むこと

(平成31年 1月20日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度 (第60回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	カ	ク	エ	コ	イ	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	オ	ケ	ウ	ア	キ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	ア	イ	イ	ア	

小 計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	2	11010	4 回	101011	ウ	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	ケ	エ	カ	ウ	キ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	オ	コ	イ	ア	ク	

小 計

45

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

[J a v a] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	k u b u n == 1
	(2)	k i n [j C o d] + u K i n
	(3)	k i n [i]
	(4)	k i n [0] * 1 0 0 / g o k e i
	(5)	s y u k e i

[マ ク ロ 言 語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	K m (K b a n)
	(2)	T t u k i = H t u k i
	(3)	S k i n
	(4)	R n i n (S o e) + 1
	(5)	R n i n (0)

各5点 計25点

小 計

25

合 計

100